

取扱説明書

アナログ時計取扱説明書

設定方法

この取扱説明書は様々な型式に適用されます。

- A. ニュートラルポジション：通常使用時のポジションで、クラウンはどちらの方向にも回りますが、時刻表示には影響はありません。
- B. 日付設定ポジション（日付表示付き腕時計に限りです。）
- C. 時刻セット用ポジション

標準アナログ時計の時刻設定

(注)標準アナログ時計にはカレンダー、日付表示はありません。また、上図とはことなり、クラウンには2つのポジションしかありません。(A:閉、C:開)

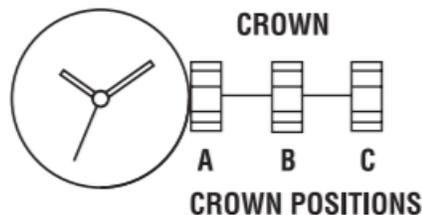
時刻を変更するにはクラウンを最後（Cポジション）まで引き出します。クラウンをどちらかの方向に回し、時刻を合わせます。その後、クラウンをAポジションまで押し込み、時刻表示を開始させます。（もし、秒針のあるタイプであれば、秒針が動き始めます。

カレンダー・日付のある腕時計での時刻設定

時刻設定については次の説明に従ってください。

日付設定方法

カレンダー表示がある時計の場合、クラウンをBポジションまで引き出し、クラウンをいずれかの方向に回してください。クラウンを回し続けると日が変わります。正確な時刻をセットしたら、クラウンをAポジションまで戻してください。時間を刻み始めます。



日/曜日 設定方法

日/曜日のある時計の場合、クラウンをBポジションまで引き出し、クラウンをいずれかの方向に回してください。クラウンを回すと日もしくは曜日が変わります。もしこの方法で変わらないような場合には、Cポジションまで引き出し、時間を進めてください。24時間ごとに表示が変わりますので、この方法でセットしてください。正確な時刻をセットしたら、クラウンをAポジションまで戻してください。時間を刻み始めます。

(注)通常状態（クラウンがAポジション）では、日は午後1時から午前5時の間に進みます。時計をセットする時には気をつけてください。

ソーラー時計シリーズ

ソーラー時計シリーズ

ソーラー時計はダイアルの下にソーラー・セルがあり、日光を電力に変えて二次電池として内部に蓄電します。従来のクォーツ時計と違い、電池交換は必要ありません。再充電性電池は違うタイプの電池に替えないようにしてください。

作動時間

充電された状態で約4か月作動します。

電池消耗お知らせ機能

二次電池に蓄電した電気の量が少なくなってくると、秒針が1秒ごとではなく2秒ごとに動くようになります。秒針が遅くなってきたら、なるべく早く日光の下で充電して下さい。

サブダイヤル付きアナログ時計

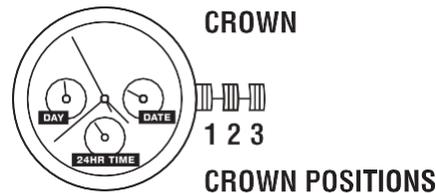
機能

- 時、分、秒表示
- サブダイヤルでの曜日、日付、24時間表示
- 耐水（時計に表示）
-

多機能モデルにおける時刻、日付、曜日の設定方法

秒針が12時の位置をさしたらクラウンを3ポジションまで引き出してください。秒針は12時の位置で止まります。次に、クラウンを時計回り方向に回して、時と分をセットしてください。分針をセットする場合には、目標とする分よりも5分進めてから、目標とする分に戻してください。

(注)24時間表示サブダイヤルも時間セットと一緒に変わります。24時間表示では正しい午前/午後を示すことに注意してください。24時間進むごとに日も1日進みます。24時間表示が正しくなるように時間をセットするようにしてください。目標とする時刻がセットできたらポジション1までクラウンを戻してください。



日を進める方法

クラウンをポジション3まで引き、時計回りにまわしてください。24時間ごとに1日進みます。24時間表示を見て、正確にセットできたかどうか確かめてください。セットが終わったら、ポジション1にクラウンを戻してください。

曜日をを進める方法

クラウンをポジション2まで引き、時計回りにまわしてください。セットが終わったら、ポジション1にクラウンを戻してください。午後9時から12時までの間は、正確にセットできませんので、セットしないでください。

自動巻き時計

自動巻き時計についてはバッテリーで動いてはいませんので、身につける前に少なくとも6~7回巻いてください。その後、日中につけているだけで十分に巻かれ、夜間身につけていなくとも動きます。もし日中の活動が十分ではないような場合には、時々ネジを巻く必要があります。機械式時計は定期的な清掃と油をさすことにより性能を維持することをお勧めします。機械時計ですので、クォーツ時計の精度は期待できません。

時刻の設定

クラウンをポジション1から2にし、時計回りもしくは反時計回りにまわして、目標とする時刻にセットしてください。セットし終わったらクラウンをポジション1に戻してください。

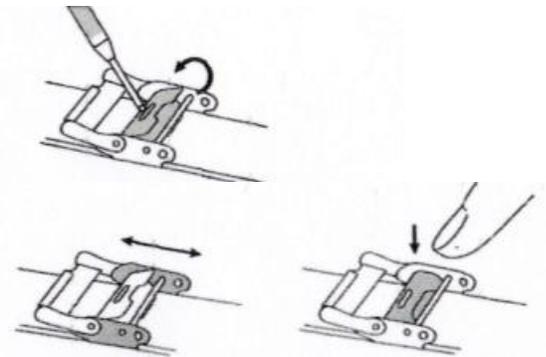


時計のネジを巻くには

ポジション1の状態でもクラウンを時計回り方向に回してください。

メッシュベルトの調整方法

1. 小さなドライバーなどの器具を、メッシュベルトの留め金の細長い穴の部分に入れ、金具を持ち上げます。
2. 留め金をスライドして手首のサイズに合わせて調整します。
(サイズを小さくしたい場合は時計側に、大きくしたい場合は外側に動かします)
3. 手首にフィットするサイズになったら、持ち上げた金具を押し戻してください。
4. しっかりはまって動かないことを確認したらサイズ調整完了です。



電池交換

時計の進みが遅くなった場合、あるいは表示が暗い・なくなった場合、バックライトが光らない場合には電池を交換してください。バッテリー交換のために時計を返送する必要はありません。時計をお近くの貴金属店にお持ちいただくことをお勧めします。もしご自分で電池を交換する場合には以下のことに留意ください。

1. 古い電池を取り外す前に、必ずプラスマイナスの向きを確認して、新しい電池が正しくセットされるようにしてください。
2. 交換電池は同じあるいは同等のものにしてください。

耐水性能について

本腕時計は時計の裏面あるいは表面に表示されている水深までの耐水性を有しています。背面に記載された水深以上に沈めないようにしてください。時計表面もしくは背面に水深表示が無い場合には水の中に入れてはいけません。腕時計にプッシュボタンがある場合には水中での操作はしないでください。もし水分もしくは結露が時計に認められた場合には、直ちに検査を行う必要があります。水分はケース内の電子部品を腐食させます。耐水性の時計は3から5気圧(100~165フィート)でテストされています。
(注)経年によりケースのガスケットが劣化し、耐水性能も劣化することがあります。訓練されたスペシャリストがガスケットとOリングをバッテリー交換時に行わなければならないため、結露を避けるために、耐水性であるかないかに関わらず、極寒もしくは極暑の環境にはさらさないようにしてください。

お問い合わせ

ご不明な点・ご意見等ございましたら下記にご連絡下さい。

株式会社日本創作

〒135-0011

東京都江東区扇橋 2-21-10

清洲橋通りビル 3F

Tel: 03-6666-0305

Fax: 03-6730-6145

Email: contact@japan-production.com

URL: <http://japan-production.com>



株式会社日本創作
Japan Production